

前橋市元総社公民館  
公民館運営推進委員会

令和7年度 第2回委員会

日時 令和8年3月11日（水） 午後2時

場所 元総社公民館 第1会議室

# 会 議 次 第

## 1 開会

## 2 委員長あいさつ

## 3 議事

### (1) 令和7年度元総社公民館の事業実績について

①公民館の事業概要	・・・	2頁
②事業費等の状況	・・・	27頁
③公民館の利用状況	・・・	28頁
④各種団体活動事業	・・・	30頁
⑤地域寺子屋事業	・・・	31頁

### (2) 令和7年度市長奨励賞の受賞について

### (3) その他

## 4 意見交換

## 5 閉会

## 令和7年度 元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

(敬称略)

任期:令和7年7月1日～令和9年6月30日

No.	氏名	所属団体・役職名	区分	備考
1	櫻井 誠	元総社小学校 校長	学校教育関係者	
2	平澤 英夫	元総社中学校 校長		
3	黒澤 均	元総社地区民生委員児童委員協議会 会長	社会教育関係者	
4	澤野 尚人	元総社地区青少年健全育成会 会長		副委員長
5	石井 宏樹	元総社公民館利用自主グループ連絡協議会 会長		
6	大関 三枝子	元総社地区ボランティア連絡会 会長		
7	佐藤 美恵子	元総社地区保健推進委員会 会長		
8	松井 益美	前橋地区更生保護女性会元総社支部 支部長		
9	林 悦実	元総社地区自治会連合会 会長	学識経験者	委員長
10	松田 實	元総社地区生涯学習奨励員連絡協議会 副会長		

## 令和7年度 元総社公民館 実施事業の概要

事業の名称	事業のねらい	主な内容	対 象
<p style="text-align: center;">元総社 すこやか 学級</p> <p style="text-align: center;">(子育て・親子支援)</p>	<p>1 同年齢の子どもを持つ親同士の交流や講師・自主グループ会員との交流を通して、 (1)子育てに対する不安や孤独感を和らげる。 (2)リフレッシュする。 (3)それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。</p> <p>2 公民館で活動する自主学習グループ(親子サークル)と連携することにより、自主学習グループの地域活動への協力の意識を高めるとともに、受講者の今後の公民館利用につなげる。</p>	<p>①「子育てサークルSg」のみなさんと親子ヨガ ②「ひよこクラブ」におじゃまして一緒に運動会</p>	未就園児(首が座った子～3歳未満)と保護者
<p style="text-align: center;">ベビー プログラム</p> <p style="text-align: center;">(総社・清里と合同) (子育て・親子支援)</p>	<p>(1)初めて子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。 (2)同じ月齢の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。</p>	<p>①新しい出会い ②赤ちゃんのいる生活と環境 ③赤ちゃんの遊びと心の発達 ④親になること</p>	2か月～5か月児の第1子とその母親
<p style="text-align: center;">元総社 親子陶芸・ 料理教室</p> <p style="text-align: center;">(子育て・親子支援)</p>	<p>(1)親子で一緒に陶芸をしたり料理をしたりすることにより、親子の時間を充実させる。また、ものづくりを通してリフレッシュする。 (2)同世代の子どもを持つ親同士や講師・自主学習グループ会員と交流する機会とする。 (3)公民館で活動する自主学習グループと連携することにより、自主グループの地域活動へ協力の意識を高めるとともに受講者の今後の公民館利用につなげる。</p>	<p>①陶芸教室(成形)～粘土で作ろう！世界で1つのあなたののお皿～ ②陶芸教室(色付け) ③料理教室～フルーツ大福を作ろう&amp;陶芸作品を受け取ろう～</p>	年少児～小学2年生と保護者
<p style="text-align: center;">プレイルーム 元総社</p> <p style="text-align: center;">(青少年体験・ チャレンジ活動)</p>	<p>文化的な活動や工作を通して、 (1)子どもの豊かな心を育む (2)学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。 (3)地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。</p>	<p>①スポーツチャンバラ教室 ②こども電気教室 ～レモン電池～ ③親子のタオル犬づくり教室 ④けん玉教室 ⑤南京玉すだれ・バルーンアート体験教室</p>	年長児～小学4年生
<p style="text-align: center;">元総社 少年教室</p> <p style="text-align: center;">(青少年体験・ チャレンジ活動)</p>	<p>(1)夏休み期間中の学びや体験活動を通して、学ぶことの意欲やこどもたちの自由な発想を引き出し、自らの考えを表現する力を育む。 (2)親子で調理実習に参加することを通して、食に対する興味を持ってもらう。 (3)生き物を観察し実際にふれあうことにより、生き物の理解を深める。 (4)学年や学校を越えた交流を通じて、コミュニケーション能力を向上させる。</p>	<p>①おやこの食育教室 ②夏のしゅくだいお手伝い教室 ～書道～ ③フクロウとみぢかな生き物を探求しよう</p>	地区小学生 (一部、中学生や親子参加)
<p style="text-align: center;">受験生応援！ 元総社学習室</p> <p style="text-align: center;">(青少年体験・ チャレンジ活動)</p>	<p>(1)受験生の学びの場を提供し、勉強に集中する。 (2)受験を目前に控え、疑問を解決する。 (3)受験生同士が勉強することにより、受験に対するモチベーションを維持する。</p>	<p>①各自テキストを持参して自主学習 ②地域寺子屋ボランティア講師による指導</p>	元総社中学校3年生
<p style="text-align: center;">生涯学習 奨励員研修</p> <p style="text-align: center;">(生涯学習奨励員 活動支援)</p>	<p>(1)視察研修を通じて生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。 (2)生涯学習奨励員同士の交流を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を図る。</p>	<p>①視察研修 「足利氏ゆかりの街で史跡・御利益めぐり」 ②座学研修 「生涯学習活動がつくる地域の輪」</p>	生涯学習奨励員
<p style="text-align: center;">自主学習グループ リーダー研修</p> <p style="text-align: center;">(自主学習グループ 活動支援)</p>	<p>(1)自主グループリーダー及び会員相互の学びあいと交流を図る。 (2)自主学習グループの会員が健康的に活動を続けられるよう、健康に関する知識の習得を図る。 (3)研修を通して学んだことを地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。</p>	<p>①お口でウイルス撃退！～笑顔と健康は口元から～</p>	公民館利用自主学習グループリーダー及び会員

事業の名称	事業のねらい	主な内容	対 象
元総社ベテラン 学習講座 (学び合い、人権、 地域ふれあい)	(1)健康に関心を持ち、喜び・生き甲斐を見出す 機会の提供 (2)地域の高齢者のつどいの場・仲間作りの場の 提供 (3)地域で活躍する人材の活用(学びの還元)	①学ぶ・作る・食べるを楽しむひととき ～たんぱく質を上手に摂ろう～ ②スマホ講座 ③美術の楽しみ方	60歳以上
ふれあい七夕 短冊飾り展 (学び合い、人権、 地域ふれあい)	(1)幼児と保護者の絆を深める。 (2)発表の場を提供し、幼児の豊かな心を育む。 (3)地域と絆を深める。	地区内の保育園・幼稚園児と保護者に 七夕祭りの短冊を作成していただき、公 民館で展示する	地区の保育園・ 幼稚園に通う幼 児
地区文化祭	地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能の 継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文 化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯 感を深める。	①作品展示 ②子ども広場 ③舞台発表 ④模擬店	地区住民
情報提供事業 (情報提供事業)	「かんぼう元総社」発行を中心に、社会教育情 報、地域社会情報を住民に提供する。	①毎月1日発行 毎戸配布 (原則 A3判裏表2つ折り・4ページ) ②ホームページ掲載、インスタグラム投稿	地区住民 前橋市民

①公民館の事業概要

●子育て、親子支援

ア 元総社すこやか学級

整理番号	1	令和 7年10月31日(金)	会場	元総社公民館 ホール
学習課題	すこやか学級第1回「子育てサークルsg」のメンバーと一緒に親子ヨガ!(ちょっとフィットネスも)		学習時間	自10時 至12時(計2時間)
講師	ヨガ・フィットネス講師 桑原 一美		出席者	すこやか学級受講者 親3名子3名 sg会員 親9名子7名 計22名
			教材用具	ゴザ
協力者	子育てサークルsg		記録者	剣持 はるか
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
1 受付 名札(すこやか学級受講者のみ)とアンケート用紙配布				
2 担当より連絡事項伝達・今日の流れの説明・講師紹介				
3 講座概要				
①抱っこひもで子どもを抱っこしてフィットネス(適宜休憩を入れながら)				
②子どもを降ろし、横においたり、抱っこしたりしながら親子ヨガ				
③子育てサークルsg代表 喜友名さんから、sgの活動紹介				
④喜友名さん進行で全員で自己紹介				
⑤みんなでおしゃべり				
⑥アンケート記入(sgメンバーも含む)				
反省事項(感想及び意見) 今回の講座は、元総社公民館で活動する親子サークルが2つもあるので、子育て中の人に参加するきっかけになればと思い、企画した。				
第1回の今回はサークルの代表者と相談し、公民館の企画と一緒に参加後、活動紹介と交流をしてもらう形をとった。前半のフィットネスと親子ヨガでは、体が動かしてみなさん楽しそうだった。後半は活動紹介と交流だったが、わきあいあいとお話しており、普段の活動でもみんなでお話することに重点をおいているようで、雰囲気味わえたのではないかなと思う。もともと少ないのに体調不良で1組欠席で参加者はさらに少なくなってしまったが、参加した方にはアンケートの満足度も100%で親子ヨガ等も含めて喜んでもらったようだ。				



●子育て、親子支援

ア 元総社すこやか学級

整理番号	2	令和 7年11月20日(木)	会場	元総社公民館 ホール
学習課題	すこやか学級第2回「ひよこクラブ」におじゃまして一緒に運動会!		学習時間	自 10時 至 12時(計2時間)
講師			出席者	すこやか学級受講者 親3名子3名 ひよこクラブ会員 親13名子13名 代表・副代表 計34名
			教材用具	
協力者	ひよこクラブ		記録者	剣持 はるか
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
1 受付 名札(すこやか学級受講者のみ)とアンケート用紙配布				
2 担当より連絡事項伝達・今日の流れの説明				
3 「ひよこクラブ」の運動会と一緒に参加				
①はじまりのうた・あいさつ ②たいそう ③かけっこ ④玉入れ ⑤りんご狩り競争				
⑥お菓子競争 ⑦パン取り競争 ⑧おかえりのうた				
4 ひよこクラブ代表 井上さんから、ひよこクラブの活動紹介				
5 アンケート記入(ひよこクラブメンバーも含む)				
反省事項(感想及び意見)				
第2回の今回はサークルの代表者と相談し、サークルの行事と一緒に参加させていただく形にした。今回に限らず、季節ごとにリンゴ狩りやクリスマス会など、イベントも定期的実施しているようだ。運動会でも3つのグループにわけ、競技も年齢・月齢の近い子同士でするなど、みんな楽しめるように工夫されていた。競技で取ってもらう景品の一部も事前の回に工作で作って、それを自分の子どもにとってもらうなど二重に楽しむ工夫もされていた。				
今回も体調不良で1組休みになってしまったが、受講者も楽しんでくれていた。				
今回の講座で、2つのグループに参加させてもらったが、良さがあり、受講者が自分にあったグループに参加してもらおうきっかけになってくれれば				
いいなと思う。				



●子育て、親子支援

イ ベビープログラム

全4回(6/27(金)、7/4(金)、7/11(金)、7/18(金)) ※資料は第1回のみ

整理番号	1	令和7年6月27日(金)	会場	前橋市清里公民館 和室
学習課題	子育て・親子支援事業 ベビープログラム第1回		学習時間	自10時00分 至12時00分 (計2時間)
講師	前橋市こども支援課職員 吉澤 歩 ファシリテーター 佐々木 千春 ファシリテーター 知久 桃果 保健師		出席者	親: 8人 子: 8人 (欠席1組)
			教材用具	テキスト、ボード、マーカー、プロジェクター、掲示物他
			記録者	総社公民館 小林
学習の概要(学習した内容の概略を記入)				
<p>1 あいさつ(清里公民館 塚越専門員/こども支援課吉澤保健師、佐々木保健師、知久保健師)</p> <p>2 2人1組になってインタビュー(名前、子の名前・生年月日、ニックネーム、その他)</p> <p>3 隣の人がインタビューシートを基に全員に紹介(今後お互いを呼ぶときはニックネームで)</p> <p>4 話し合いの約束事を確認(無断でSNSに上げない、この場での話は他言しない 等)</p> <p>5 他の人に聞いてみたいことや困っていることをふせんに書いていく</p> <p>6 グループになって上記5をお互いに共有する(ワークショップ形式) 他の班で出た意見について共有タイム</p> <p>7 DVD鑑賞(テキストの紹介)</p> <p>8 今日参加してみての感想を発表</p> <p>9 質問交流タイム(30分)</p>				
反省事項(感想及び意見)				
<p>こども支援課職員のサポートの元、お互いのことを知り、他己紹介をし合うことで穏やかな雰囲気が進んでいたように思う。また、数人がまとまった話し合いの場でも打ち解けられており、お互いが楽しく交流できているような印象があった。</p> <p>同じ月齢の子どもを持つ母親同士で話をする中で、生活リズム、夏の暑さ対策、赤ちゃんの体重や体調関係などについて、「同じような悩みを抱えている方と話せて、悩み共有や対処法を教えてもらえてよかった」という声や、「大人同士でゆっくり話せてよかった」という声があった。最後の交流タイムでは、最初のペア同士で打ち解けて話すことができていたように思う。参加者同士で有意義な情報交換ができたのではないかと思います。</p>				



- 子育て、親子支援
  - ウ 元総社親子陶芸・料理教室

令和7年度 元総社公民館子育て・親子支援事業

## 「元総社親子陶芸・料理教室」参加者募集



第1回

**陶芸教室（成形）**  
～粘土で作ろう！世界で  
1つのおあなたのお皿～

**2月21日（土）**  
10:00～12:00

元総社公民館自主学习グループ  
楽友会

第2回

**陶芸教室（色つけ）**  
～粘土で作ろう！世界で  
1つのおあなたのお皿～

**3月7日（土）**  
10:00～12:00

元総社公民館自主学习グループ  
楽友会

第3回

**料理教室**  
～フルーツ大福を作ろう  
&陶芸作品を受け取ろう～

**3月21日（土）**  
10:00～12:00

エコ食楽部



何のフルーツが  
お楽しみに！



★全3回の連続講座です

- ★対象者 市内在住の年少児～小学校2年生と保護者（先着8組）
- ★会場 元総社公民館 第1・2回 アトリエ 第3回 料理実習室
- ★参加費 第1・2回 1組500円程度（陶芸材料費）（第1回に当日集金）、  
第3回 1組500円（料理材料費）（当日集金）
- ★持ち物 第1・2回共通 タオル（汚れてもいいもの）、ぬれたタオルを入れる  
ビニール袋、汚れてもいい服装、エプロン  
第1回 参加費500円程度  
第2回 参加費500円、エプロン、三角巾、食器用ふきん、手拭き  
タオル
- ★申込み 元総社公民館へ電話（027-251-2243）または窓口にて直接お申込  
みください。
- ★問合わせ 前橋市元総社公民館（元総社市民サービスセンター）  
前橋市元総社町3-1-1

●子育て、親子支援

ウ 元総社親子陶芸・料理教室

整理番号	1	令和 8年 2月21日 (土)	会場	元総社公民館 アトリエ
学習課題	親子陶芸・料理教室 第1回「陶芸教室(成形)」		学習時間	自10時 至12時(計2時間)
			出席者	8組 親9名子11名 計20名
講師	元総社公民館自主学習グループ 楽友会		教材用具	
			協力者	
		記録者	剣持 はるか	
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
1 受付 材料費預かり、名札とアンケート用紙配布				
2 担当より連絡事項伝達・今日の流れの説明・講師紹介				
3 講座概要				
①講師より陶芸制作について、出来上がりまでの全体の流れを説明。本日の作業の説明。				
②講師に教えてもらいながら、各親子ごとに用意してもらった粘土を半分に分け、練る。				
③粘土を伸ばし、円の台紙や生の葉っぱを使って切り、お皿にする。縁の部分を少し立ち上げる。もう半分も同様に作る。(人数が多い親子は希望をきき材料を1.5倍で用意)				
④出来上がった親子からアンケートを記入して、解散。				
反省事項(感想及び意見) 今回の講座は、年齢が上げると少なくなってしまう親子で一緒に作業やふれあいを目的に開催した。また公民館で活動している自主学習グループの活用のため、陶芸については講師を楽友会にお願いした。かなり久しぶりという話だったが快く引き受けてくれた。各テーブルに1人以上ついてくれ、ぎめ細かな指導をもらった。				
参加者はみんな親子での作業を楽しんで行っていたようだ。基本的には1組でお皿を2枚作ってもらったが、中には、半分は親子でキャラクター合作したりとか、半分は小皿と箸置を作ったりとか、いろいろなものを作って楽しんでいるところもあった。アンケートでも高評価をいただき、満足してもらえたようだ。				



●青少年体験・チャレンジ活動

ア プレイルーム元総社

整理番号	1	期日	令和7年6月28日(土)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	プレイルーム元総社 第1回『スポーツチャンバラ教室』			学習時間	自 10時10分 至 11時30分 計1時間20分
講師	群馬県スポーツチャンバラ協会 前橋支部 永見美弥子			出席者	30人(一組) こども9人、その他21人(講師含む)
助言者	-			教材用具	講師:エアソフト剣
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員(13人)			記録者	中村徳雄
学習の概要					
1【開会】宇多公民館長(今後のプレイルーム、少年教室紹介)、大関ボラ連会長あいさつ及び講師紹介。					
2【講義】参加者を整列させた後、剣道とスポーツチャンバラの違いについて学習。					
3【実習】①準備運動 ②基本動作(攻め・防御)の実習 ③講師自身の身体を使い(盾(ミット)忘れ)、順番に打ち込みや防御の実習 ④片腕に造花(赤・白)をつけて、その造花を打ち落とすという、参加者による追いかけっこ形式の実習。男性対女性、保護者も参加した無差別の試合形式実習。					
4【閉会】①講師へお礼の拍手 ②アンケート記入・提出 ③ボラ連からお菓子をもらい解散。					
5【周知方法】公民館報への掲載及び募集チラシのバレット配信(3小学校)。募集ポスター・チラシの公民館・図書館分館内掲示・設置。					
反省事項(感想及び意見)					
開会当初は声を発せられないこども達が多かったが、ボランティア連絡会員や保護者の協力もあって、教室が進むにつれて声も大きくなり、楽しみながらスポーツチャンバラを習っていた。最後の試合では、片腕につけた造花を打ち落とされないようにとホール内を走り回り、息を切らせながらも楽しんでいる様子が窺え、またアンケートでも「楽しかった。学校以外のイベントに参加できて、交流できて良かった。」といった感想もあり、教室開催のねらいは達成できたのではないかと思います。					
今回は、同月に大友児童館でスポーツチャンバラ教室(2日間)が行われ、また痛みを伴うスポーツでもあることから、応募者は少なかった。来年度以降は、教室の見直しや大友児童館と同月に同じ教室が重ならないよう教室を実施していきたい。					



●青少年体験・チャレンジ活動

ア プレイルーム元総社

整理番号	2	期日	令和7年7月26日(土)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	プレイルーム元総社 第2回『こども電気教室～レモン電池～』			学習時間	自 10時10分 至 11時30分 計1時間20分
講師	関東電気保安協会 群馬事業本部 青木 恵 広報担当部長ほか2名			出席者	30人(一組) こども15人、その他15人(講師含む)
助言者	-			教材用具	講師:パソコン、ポインター、教材キット一式 公民館:プロジェクター、スクリーン、包丁 ボラ連:レモン、紙皿
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員(10人)			記録者	中村 徳雄
学習の概要					
1【開会】大関ボラ連会長あいさつ及び講師紹介/公民館担当より事務連絡。					
2【講義】DVDを使用し、電気を正しく安全に使用方法について学習。					
3【実習】DVDを使用しながら、レモン電池キットとボランティア連絡会員がスライスしてくれたレモンで、電池づくり。亜鉛板・レモン・銅板と順番に組み合わせて電線をつなげると、レモン果汁に亜鉛が溶け出す。この時、亜鉛板には電子が残り、その電子が電線に伝わって銅板に移動する。電子の移動する方向とは反対方向に電流が流れて、LED電球が点灯することやオルゴールが鳴ることを体験。 また、こども達が持参したレモン以外の果物や野菜でもLED電球が点灯のかなどを実験。					
4【閉会】アンケートを記入し提出後、ボラ連からお菓子をもらい解散。					
5【周知方法】公民館報への掲載及び募集チラシのバレット配信(3小学校)。募集ポスター・チラシの公民館・図書館分館内掲示・設置。					
反省事項(感想及び意見)					
講師を含め、ボランティア連絡会員の手厚いサポートのおかげもあり、参加者の誰もが置いてきぼりにならず、教室を終了することができた。講義では、質問形式で振り返りを行いながら理解を深めさせ、実習では、所々で分からない参加者がいないか声掛け・確認をしながら進めていた講師は素晴らしかった。 参加した多くのこども達が、電気を正しく安全に使用方法の振り返りの際に手を挙げて答え、レモンや持参した果物や野菜でLED電球の点灯やオルゴールが鳴って喜ぶ姿を見ると、開催目的は達成できたのではないかと思います。今後も、このようなこども達が楽しく満足する教室を検討・開催していきたい。					



●青少年体験・チャレンジ活動

ア プレイルーム元総社

整理番号	3	期日	令和7年11月29日(土)	会場	元総社公民館 アトリエ
講座・事業名	プレイルーム元総社 第3回『親子のタオル犬づくり教室』			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計1時間30分
講師	元総社地区ボランティア連絡会 大関 三枝子 会長ほか会員			出席者	10人(一組) 親子2人、その他8人(講師含む)
助言者	-			教材用具	ボランティア連絡会:タオル犬づくりセット等
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員			記録者	中村 徳雄
<b>学習の概要</b>					
1【開会】省略。					
2【実習】大関会長を筆頭に、集まったボランティア連絡会員により実習が進められた。 参加者は、親子のタオル犬ということで、自分の好きな色の大小のタオルを選ぶところから始まり、親のタオル犬、子どものタオル犬を制作。時間が余ったため、その後、パーラービーズ作品を制作し終了。					
3【閉会】省略(アンケート記入・提出後、ボラ連よりお菓子をもらい解散)。					
4【周知方法】①公民館報への掲載。②募集チラシのタブレット配信(3小学校)。③募集ポスター・チラシの公民館及び図書館分館内掲示・設置。					
<b>反省事項(感想及び意見)</b>					
インフルエンザが例年より早く流行し、募集定員に達していない中、開催準備を進めていたが、開催日が近づくにつれ、参加者が体調を崩したとキャンセルの連絡が相次いだ。結果として、当日には参加者一人となってしまう、当日、状況を説明し参加の有無を確認したところ、「やりたい。」と言ってくれたので、お母さんと一緒に参加してもらった。何かを作る作業が好きな参加者であったため、楽しそうにタオル犬などを作っていたので、教室を中止にせず開催出来て良かったと感じた。アンケートにも「とてもよかった。去年よりもかわいくタオル犬を作れました。」と書いてくれ、少しは本事業のねらいを達成できたのではないかと思います。					
今後も、参加してくれる子ども達が楽しく学べる教室、時期を検討し、実施したい。					



●青少年体験・チャレンジ活動

ア プレイルーム元総社

整理番号	4	期日	令和7年12月25日(木)	会場	前橋市元総社公民館 ホール
講座・事業名	けん玉教室 【青少年体験・チャレンジ活動事業】			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計 1時間30分
講師	それいけ！出前講座(職員講師) 図書館 新本館整備室 室長 山崎 隆 裕			出席者	19人(一組) こども10人、その他9人(講師含む)
助言者	-			教材用具	講師:けん玉、ケンケンバ用リング 公民館:ジョイントマット
協力団体	元総社地区ボランティア連絡会(7人)			記録者	中村 徳 雄
<p><b>学習の概要</b> 年長さんから小学4年生を対象にした体験学習『プレイルーム元総社』(青少年体験・チャレンジ活動事業)の第4回目として開催。</p>					
<p><b>1 ねらい</b></p> <p>文化的な活動や工作を通して、(1)こどもの豊かな心を育む。(2)学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。(3)地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。</p>					
<p><b>2 概要</b></p> <p>序盤:けん玉の部位名称や面白いけん玉について学習。</p> <p>中盤:けん玉に触れながら、技や遊びを体験学習。</p> <p>終盤:講師によるけん玉パフォーマンスを鑑賞。</p>					
<p><b>3 周知方法</b> ①公民館報への掲載。②募集チラシのタブレット配信(3小学校)。③募集ポスター・チラシの公民館・図書館分館内掲示・設置。</p>					
<p><b>反省事項(感想及び意見)</b></p> <p>募集定員より少ない参加者であったため寂しく感じたが、昨年参加したこども達を含め飽きさせない進め方と内容であった。そのため、序盤から楽しみながらけん玉の技や遊びを学んでいる様子が要所に窺え、けん玉は日本が発祥だと思っていたが、フランスが発祥という説もあり、フランス語でけん玉を「ビル・ボケ」ということをこども達と一緒に学んだ。終盤の講師による10連大皿のせは、こども達が見つめる中、2年連続一発で決めて大いに盛り上がり、アンケートでも9割の参加者が「とても楽しかった。」を選んでくれ、講座開催のねらいは達成できたのではないかと思います。今後は、マンネリ化せず、多くの参加者が見込める講座を検討したい。</p>					



●青少年体験・チャレンジ活動

ア プレイルーム元総社

整理番号	5	期日	令和8年2月28日(土)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	プレイルーム元総社 第5回 『南京玉すだれ・バルーンアート体験教室』			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計1時間30分
講師	それいけ!まえばし出前講座 市民講師 田子 智代			出席者	26人(一組) こども10人、その他16人(講師含む)
助言者	-			教材用具	講師:すだれ、バルーンアート用風船 ポップ(空気入れ)、絵本等
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員(11人)			記録者	中村 徳雄
学習の概要					
1【開会】大関ボラ連会長あいさつ及び講師紹介/公民館担当より事務連絡。					
2【教室概要】①八木節などを歌いながら南京玉すだれの実演(15分)					
②参加者の南京玉すだれ体験(25分)					
③休憩(5分)					
④絵本(ねこのお話)の読み聞かせ(7分) ※もう少し時間があれば紙芝居も					
⑤バルーンアートの実演を行いつつ、参加者が各バルーンアートづくりの体験(38分)					
4【閉会】①講師へのお礼の拍手 ②アンケート記入・提出 ③ボラ連からお菓子をもらい解散。					
5【周知方法】①公民館報への掲載 ②募集チラシのタブレット配信(3小学校)及び配布(保育所・幼稚園)					
③募集ポスター・チラシの公民館・図書館分館内掲示・設置。					
反省事項(感想及び意見)					
南京玉すだれ体験で参加者が集まるのかと心配していたが10名の参加者が集まり、結果として、教室の内容からするとちょうどよかった。教室の要所で、「空気入れを投げたはいけない。」などの道徳を教えたり、絵本の中で、ねこが問題に直面した時どのようにして解決していくか教えていたが、参加者を楽しく飽きさせない講師の話術や進め方とボランティア連絡会員の協力で、参加者全員は最後まで楽しく学んでいた。					
アンケートでも、「わかりやすく、楽しく良かった。」といった感想がほぼで、本事業の目的は達成できたのではないかと思う。アンケートからすると、楽しく物づくりができる教室を希望しているようなので、今後の事業計画において検討していきたい。					



●青少年体験・チャレンジ活動

イ 元総社少年教室

整理番号	1	期日	令和7年8月2日(土)	会場	元総社公民館 調理実習室・アトリエ
講座・事業名	元総社少年教室 おやこの食育教室			学習時間	自 10時00分 至 12時30分 計 2.5時間
講師	元総社地区食生活改善推進員 森 裕美子 他10名			出席者	2人(1組)
助言者	-			教材用具	各種材料、ボウルや包丁など調理用具
協力者	-			記録者	副主幹 片貝・昌人
学習の概要					
(1)食育講話・調理実習を行う際の注意点・調理実習を行う料理について					
初めに食事の基本は主食、主菜、副菜の組合せがあり、バランスよく食事をする必要性など資料にもとづき説明された。その後、本日のメニューのチキン南蛮焼き、野菜スープ、練乳フルーツアイスの作り方と料理の注意事項として手洗い、指輪などをはずすなどの説明がされた。					
(2)調理実習開始					
アトリエから調理実習室に移動し調理を開始した。					
参加者の好き嫌いなどを確認し、素材の匂いも確認しながら食育教室資料の手順にもとづき、食改善推進員の皆さんの指導で、①メインのチキン南蛮焼き、②野菜スープ、③練乳フルーツアイスの順で調理を進めチキン南蛮焼きのタルタルソース作りでは、ゆで卵の扱い方、デザートフルーツアイスの作り方も丁寧な説明を受けて、順調に調理が進み上手に全てのメニューが完成した。					
(3)アトリエに移動し食事とその後の片付け					
一組の参加者でしたが、おいしそうに完食し、後片付けまでが料理であり、最後の片付けをして終了した。					
反省事項(感想及び意見)					
食育教室の8月2日の開催時期の都合もあると思うが、2組の申込から最終的には1組がキャンセルとなり、1組だけの参加での開催となりました。参加者が少なかったことは大変残念であり、開催時期の問題等も含め、今後の開催について検討したい。しかしながら参加者が楽しそうに調理し、美味しそうに食事する様子が見られ、食改善推進員の皆さんの協力により開催できたことは非常に良かったと思う。					



●青少年体験・チャレンジ活動

イ 元総社少年教室

整理番号	2	期日	令和7年8月5日(火)	会場	元総社公民館 第1会議室
講座・事業名	元総社少年教室 夏のしゅくだいお手伝い教室～書道～			学習時間	自 14時 至 15時30分 計 1.5時間
講師	書道 あをみ会 奥野 美代子 他7名			出席者	20人
助言者	-			教材用具	習字道具、課題文字お手本、新聞紙
協力者	-			記録者	副主幹 片貝 昌人
学習の概要					
対象者は3年生から6年生とし、学年毎に課題が決められ、指導者も学年毎に定め次のとおり実施した。					
①各自で用意した新聞紙を敷き、事務局で用意した学年ごとの課題(手本)を配付					
②字の大きさや筆の運び方についての説明					
漢字は大きく書くこと、筆の真ん中を持ち、力はいれない、肘が先に動くイメージで書くこと。					
③練習で実際に繰り返し字を書いていく					
④清書し、うまくかけた書に学年と名前を入れる					
反省事項(感想及び意見)					
前年の開催期間が課題の提出期限の直前の8月下旬であったため、時期を8月上旬に変更した。また開催時間も2時間から1.5時間に短縮しての開催としたため、集中力があまり途切れることなく、あをみ会の皆さんの協力により効果的に進めることができたと思う。					
なお、講師から半紙に学年、名前を書く必要があるため参加者の学年、名前も漢字で各児童の席に表示してほしいとの要望があった。来年度は事前打合せでは内容を十分に確認し実施したい。					



●青少年体験・チャレンジ活動

イ 元総社少年教室

整理番号	3	期日	令和7年8月23日(土)	会場	元総社公民館 第1・2会議室
講座・事業名	元総社少年教室 フクロウとみぢかな生き物を探求しよう			学習時間	自 10時30分 至 12時00分 計 1時間30分
講師	あかぎふくろう一家 川島 志保			出席者	10名(他に保護者、幼児など10名程参加)
助言者	-			教材用具	
協力者	渡邊さん 1名			記録者	副主任 片貝 昌人
学習の概要					
①フクロウについての秘密や生態についてパワーポイント資料で説明(座学:第1会議室)					
・フクロウとミミズクとの違い 羽角の有無					
・フクロウなどの鳥類の耳の位置 目の横にある、爬虫類も同様					
・フクロウの生態 鳥類全般は昼行性であるが、フクロウは夜行性で夜間に狩り、200種類程で目は動かさず首を回す					
座学の途中でベンガルワシミミズクのジャン登場、スライドとともにジャンを観察しながら講座が進められ、説明後に第2会議室に移動し身近な動物にふれあい、観察した。					
②身近な動物の観察等(アヒル、にわとりなどの3種類の動物 11:35 第2会議室)					
身近なアヒル等を観察するとともに実際にふれあい抱きかかえたりする子もいた。					
③写真撮影(12:00～)					
教室終了後に時間のある人はミミズクたちと記念撮影をし解散となった。					
反省事項(感想及び意見)					
毎年実施している教室であるが、今回は人数が集まらず、地区を拡大し市外の方も参加しての実施となり、保護者等も含めると20名程となった。ジャンを前にしながら座学の時間も興味深く講師の説明を聞いていた。また講師が用意したスライドなどで生態等に関するクイズにも楽しそうに参加し、有意義な講座であったと思う。					



●青少年体験・チャレンジ活動  
ウ 受験生応援！元総社学習室

整理番号	期日	令和7年12月25日(木)、 26日(金)	会場	元総社公民館第1会議室、視聴覚室
講座・事業名	受験生応援！元総社学習室		学習時間	自 9時00分 至 12時00分 計 3時間
講師	地域寺子屋ボランティア講師 高井浩子さん、赤石武さん、 赤石邦子さん、鎌田清さん、 岸昭敏さん		出席者	元総社中学校3年生12人 (25日12人、26日8人)
助言者	-		教材用具	各自持込みテキスト
協力者	元総社中学校卒業生ボランティア 山木徳香さん、大友悠楓さん		記録者	館長 宇多隆博
<b>学習の概要</b>				
①公民館から企画の趣旨説明、講師紹介。				
②各自、テキストを持ち込んで自主学習。質問や相談があれば随時受け付けて対応した。				
③終了後、アンケート用紙記入。手書きメッセージ入りキットカットを2個ずつプレゼントして解散。				
<b>反省事項(感想及び意見)</b>				
一昨年から実施している本事業であるが、これまで1日開催だったものを、好評につき今年度は2日間開催した。両日とも参加した生徒が8人もいて、必要とされている事業だと実感した。アンケートからも「朝から勉強することで1日のリズムをつくれるので、今日参加してよかった。」「効率的に3時間みっちり勉強でき良かった。」と満足度が高いことがうかがえた。				
今回、元中在校時に地域寺子屋に参加していた大学生2人に声をかけたところ、喜んで協力してくれた。生徒に教えたり相談にのってあげることも、彼女らにとっていい学びになったと思う。				
最後に、公民館職員及び講師の方々を手書きした一言メッセージ入りのキットカットを渡した。年明け早々受験が始まると思うので、心からエールを送りたい。				



●生涯学習奨励員活動支援

ア 視察研修

整理番号	1	期日	令和7年10月14日(火)	会場	栃木県足利市内
講座・事業名	元総社地区生涯学習奨励員視察研修 「足利氏ゆかりの街で史跡・御利益めぐり」			学習時間	自 8時15分 至 14時45分 うち3時間20分
講師	足利市観光案内人 亀田治夫様			出席者	10人(一組) 奨励員9人、公民館職員1人
助言者	-			教材用具	パンフレット等
協力者	-			記録者	中村徳雄
<b>学習の概要</b>					
本研修は、(1)視察研修を通じて生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。					
(2)生涯学習奨励員の交流を深め、地域の生涯学習の活性化を目的に実施。					
<b>1 足利織姫神社(9:15~9:55) 40分</b>					
大鳥居から境内までの229段の石段を登りきり参拝。美しい社殿、景色を見学。					
<b>2 足利まち歩きミュージアム(9:59~10:29) 30分</b>					
元足利銀行だった建物の地下金庫を利用したミュージアム。					
足利の歴史や自然、観光スポット、足利ゆかりの人物展示を見学。					
<b>3 足利まちなか遊学館(10:30~11:00) 30分</b>					
足利の歴史や文化、観光名所(饅阿寺・足利学校・足利織姫神社)のほか足利氏に関する展示を見学。					
<b>4 饅阿寺(12:01~12:36) 35分</b>					
足利市観光案内人より、建物の特徴や歴史などについて説明を受けながら境内を見学。					
<b>5 史跡足利学校(12:36~13:41) 65分</b>					
足利市観光案内人より、建物の特徴や歴史などについて説明を受けながら敷地内を見学。					
<b>反省事項(感想及び意見)</b>					
今年度は、生涯学習奨励員の委嘱初年度ということで、各奨励員同士学びながら交流を深め、人となりが分かって大変有意義な研修になったと思う。饅阿寺では、多宝塔の説明の中で、本県の水沢寺の六角二重塔と屋根のつくりが似ていると説明があったり、また、教科書で見て習った足利学校が目の前にあることで興味が湧いた奨励員も多かったと思われる。今回の研修を活かし、地域住民のさまざまな学習活動の機会を設けたり、町の広報紙を作成し情報提供を行ったりと「学びのボランティア」として活躍を期待したい。					



●生涯学習奨励員活動支援

イ 座学研修

整理番号	2	期日	令和8年1月15日(木)	会場	元総社公民館 視聴覚室
講座・事業名	『生涯学習活動がつくる地域の輪』 生涯学習奨励員活動支援(単独研修)			学習時間	自 18時30分 至 19時30分 計 60分
講師	前橋市生涯学習課 社会教育係 副参事 新保正夫 主事 太田桃子			出席者	9人(一組) ※講師・事務局担当含まず
助言者	-			教材用具	講師:資料、パソコン 事務局:スクリーン、プロジェクター、マイク
協力者	-			記録者	中村徳雄
学習の概要					
1 ねらい (1) 研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。 (2) 生涯学習奨励員同士の交流を深め、連携を図る。					
2 概要 講座:『生涯学習活動がつくる地域の輪』(それいけ!まえばし出前講座)					
(1) 前橋市の生涯学習について(社会教育のビジョン、優良公民館表彰(文部科学省))					
(2) 前橋市生涯学習奨励員制度について(新しいメンバーを迎えて)					
(3) 生涯学習フェスティバル・生涯学習実践研究会					
(4) 奨励員活動紹介					
(5) まとめ					
(6) 質疑応答(なし:受講感想(林会長))					
反省事項(感想及び意見)					
委嘱初年度ということで、制度や他地区で取り組んでいる活動事例などを学び、その学びを地域に還元してもらうため、今回の座学研修を実施した。研修中は皆、講師の話に耳を傾け、今後の活動に活かそうという様子が窺え、受講アンケートでも、「期待した学びが得られたため、地域の中で役立てたい。」という意見が多かったので、本研修のねらいは達成できたのではないかと思います。今後、町の学びのボランティアとして、地域の課題・要望を理解するため、アンテナを高く張り、焦らず諦めず、自治会をはじめ、周りの協力を得ながら、できることを無理のない範囲で行ってほしいと思うとともに、そのための支援を行っていきたい。					



● 自主学習グループ活動支援  
ア リーダー研修会

整理番号	1	令和8年1月22日(木)	会場	元総社公民館 ホール
学習課題	令和7年度自主学習グループリーダー研修会		学習時間	自 午後2時 至 午後3時(計1時間)
			出席者	28名
講師	前橋市健康増進課 歯科衛生士		教材用具	別紙配布資料のとおり
			記録者	平崎 沙織
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
<p>テーマ：お口でウイルス撃退！！～笑顔と健康は口元から～ 講師の体験も交え、お口の健康にまつわる講話をしていただいた。 途中、顔面体操等の実践を伴うものもあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯医者、歯ブラシ、歯磨き粉の選び方</li> <li>・ 口腔内の菌の数</li> <li>・ 砂糖の多い飲料とその飲み方(飲むタイミングでリスクの高さが変わる。)</li> <li>・ 歯周ポケットの深さで分かる歯周病の進行具合</li> <li>・ 舌磨き、顔面体操のやり方</li> <li>・ 口腔内の汚れを取る道具(汚れ落ち度：歯ブラシ60%、フロス70%、歯間ブラシ90%)</li> <li>・ 歯磨きをするときの力加減の確認方法 (キッチンスケール上で歯ブラシを動かし、100g程度が適している)</li> </ul>				
反省事項(感想及び意見)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随所で講師自身の体験を交えて話していただいたので、説得力もあり、受講者は興味を持って聞いていた。ユーモアを交えた話に笑ったり、熱心にメモを取ったりする様子が見られた。</li> <li>・ お口の健康は、すべての年代に関わりがあり、自分事として捉えられるテーマである。生活に直結しているため、学んだことをすぐに取り入れやすい。そうした点からも、受講者の年代には幅があるが、全体として高く評価されたのだと思う。</li> <li>・ 学んだことを受講者自身の生活に生かすだけでなく、活動の合間に各団体の会員と共有し、今後も健康的に活動を続けていただきたい。</li> <li>・ 反省事項としては、アンケートの回答に「話を聞く時間が長かったので、歯磨きの練習等があれば、切り替えになってよりお話が聞けたかと思う」との記載があったため、講話を聞くだけでなく、実践する場面もある程度入っている構成での研修を次回は検討したい。</li> </ul>				



●学び合い・人権・地域ふれあい

ア 元総社ベテラン学習講座

整理番号	1	令和7年10月17日(金)	会場	元総社公民館 料理実習室、アトリエ
学習課題	元総社ベテラン学習講座 第1回「学ぶ・作る・食べるを 楽しむひととき～たんぱく質を 上手に摂ろう 編～ しっかり食べてフレイル予防! 高齢期をもっと元気に！」		学習時間	自 9時30分 至 12時30分(計3時間)
			出席者	16名(受講者・講師各8名)
講師	元総社地区食生活改善推進員会		教材用具	調理道具一式
			記録者	平崎 沙織
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
<p>1 講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルの原因や低栄養予防のポイント等についての説明、日頃の食事で摂取しやすい高タンパク食品や実際に調理するレシピの簡単な紹介等を行った。</li> </ul> <p>2 調理実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理台1台につき受講者2名と講師1～2名で4品調理(ご飯と副菜2品目は講師が調理したものを提供)。材料は予め調理台に用意されており、調味料は適時講師が配布した。</li> <li>・調理台により手順に若干の差はあったが、講師が手伝いつつ、全品の出来上がり時間が揃うよう調整しながら進められた。</li> </ul> <p>3 食事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者自身が調理したものを食した。講師も同席し、受講者から感想を聞いた。</li> </ul> <p>4 片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「片付けまでが料理」ということで、受講者も食器洗いと収納まで行った。</li> </ul>				
反省事項(感想及び意見)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レシピ紹介では、調理法を簡潔に伝えて受講者の心理的負担を取り除いていたように思う。調理後には難しかったと話した受講者も、開始時には前向きに臨んでいるように見えた。高タンパク食品の紹介においては、摂取しやすさにも重きを置いてピックアップされており、受講後にも継続してもらえるよう配慮した内容となっていた。</li> <li>・受講者からは、「こんなに簡単にできるんだね」、「薄味なのにとてもおいしく感動した」、「日頃の食事がいかにしょっぱいかよくわかった」等の実感のこもった声が聞かれ、講話に加えて調理実習と食事を行うことでより理解を深めることができたと思う。</li> <li>・感想の発表では、アンケートに記載されていなかった正直な気持ちや意見を聞くことができた。その中でも楽しかったという感想は複数あり、講師とともに最大の目的としていた「楽しむこと」は概ね達成できたのではないと思う。</li> <li>・定員16名のところ、受講者8名での開催となった。館報を主な周知方法としていたが、別のイベントでチラシを掲示した際に初めて知ったという方もいたため、次回は周知方法を見直したい。</li> </ul>				



●学び合い・人権・地域ふれあい

ア 元総社ベテラン学習講座

整理番号	1	令和7年12月8日(月)	会場	元総社公民館 第2会議室
学習課題	元総社ベテラン学習講座 第2回 スマホ講座		学習時間	自 10時 至 12時(計2時間)
			出席者	15名
講師	NPO法人 教育支援協会北関東 職員(2名)		教材用具	スマートフォン、講義資料
			記録者	平崎 沙織
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
<p>1 スマートフォンの基本操作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラパゴス携帯とスマートフォンの違い、OSの違い</li> <li>・文字入力(トグル入力・フリック入力)</li> <li>・スマートフォンの使用に関する用語、「ギガ」が示す3つの意味</li> <li>・二次元コードの読取</li> <li>・インターネット検索(音声検索)等</li> </ul> <p>2 スマートフォンを安全に使用するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身に覚えのない連絡は無視する、確認が必要な時は公式サイトから行う、お店やスマホが得意な人に相談する等</li> </ul> <p>上記を講義と実践を交えて学びんだ。講師もアンケートを用意しており、復習を兼ねて、QRコードを読み取ってスマホ上で回答していただきたい旨の案内があった。</p>				
反省事項(感想及び意見)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は初級編と位置づけ、基礎的な内容を取り上げていただいた。貸出用端末を使用できるためスマートフォンをお持ちでない方も対象としたが、参加者は全員所有者だった。</li> <li>・講義では、具体的なシーンを上げたり、別の事柄に置き換えたりして説明する場面が多々あった。受講者は何度もうなずいていたので、理解しやすかったようである。メモを取ったり、挙手して不明点を解消したりしようとする積極的な姿勢が全体に見られた。</li> <li>・実践する内容は、Wi-Fiのオン・オフの仕方、インカメラや動画撮影への切替え方、音声検索のボタン位置等、入口までの案内がメインだった。スマートフォンを持たない方が機能を知るには適していると思うが、既に使用している方にとっては物足りない部分もあったのではないと思う。取り上げるテーマは希望に沿っていたが、どの程度まで取り扱うかの確認が不足していた。複数回に分けるか、テーマを絞ってもう一步踏み込んだ操作までできるとよかったと思う。</li> <li>・講義中、講師2名の他にまえばしデジタルサポーター1名も受講者をサポートしたが、それでも人手が足りず、公民館職員も受講者に呼ばれて対応する場面があった。受講者4名につき1人くらいの割合でサポートする人員がいるとより良いと感じた。</li> <li>・終了後、今後のスマホ講座開催予定を聞かれることもあり、スマートフォンへの関心の高さが伺えた。発展した内容の講座開催も検討していきたい。</li> </ul>				



●学び合い・人権・地域ふれあい

ア 元総社ベテラン学習講座

整理番号	1	令和7年12月18日(木)	会場	元総社公民館 第2会議室
学習課題	元総社ベテラン学習講座 第3回 美術の楽しみ方		学習時間	自 10時 至 12時(計2時間)
			出席者	16名
講師	アーツ前橋 職員 (文化国際課の出前講座)		教材用具	講義資料
			記録者	平崎 沙織
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
<p>美術の見方・楽しみ方について、入門編と位置づけ、絵画を中心に取り上げて講義していただいた。机等は教室形式で配置した。</p> <p>講師からは、どのような気持ちで見ると楽に落ち着いていられるか、意味や象徴よりも精神性を味わうことに重きを置き、本講義が美術館で見るときの助けになればとのお話があった。</p> <p>1 色、筆、かたち          (1) 空間性から平面性へ          (2) 絵の具、筆触の存在感          (3) 画面の輝き</p> <p>2 抽象の味わい          ※1、2とも、まず西洋画を取り上げた後、前橋ゆかりの画家と作品を紹介した。</p> <p>3 企画展「GHOST! 見えないものがみえるとき」について、出張ギャラリートークのように出展作品や作家について紹介した。</p>				
反省事項(感想及び意見)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師が専ねたところ、参加者の半数以上がアーツ前橋への来館経験があった。当時開催中であったアーツ前橋の企画展に訪れた人は1人、アーツ前橋に限らず企画展を年2~3回訪れる人は2~3人であり、ほとんど経験のない人が多かった。</li> <li>・講義中、知っている画家の名前が出るとなずきながら聴く姿が見られたが、終盤になると、居眠りしてしまったり、メモを取りながら聴いたり受講者によって様々であった。そんな中でも、前橋ゆかりの画家の話が始まると、受講者全体が強い関心を向け、雰囲気が一変するのを何度も感じた。</li> <li>・身近なものに関連したお話だと関心を寄せやすいのだと実感したため、歴史・美術・文学系の講座を開催するときには、地域に関連したテーマ設定等を行うようにしたい。</li> <li>・アンケートを見ると、本講座への評価は分かれている。期待した学びが得られなかったという点については、受講者が想定する内容との差が少なくなるよう、開催案内の記載内容を工夫する必要があると感じた。</li> <li>・今回はアーツ前橋の企画展終了間近での講座開催だったが、今後同様の内容を実施する場合には、受講して高まった興味・関心が薄れる前に次の行動へ繋げられるよう、企画展の開催時期等も考慮して講座の日程を設定したい。</li> </ul>				



● 学び合い・人権・地域ふれあい

イ 幼児と保護者のふれあい七夕短冊飾り展

整理番号	1	期日	令和7年5月28日(土) ～7月10日(木)	会場	元総社公民館 ホールロビー窓ガラス (来場者用:玄関ホール)
講座・事業名	幼児と保護者のふれあい七夕短冊飾り展			学習時間	期間内随時 計13日間
協力者	元総社地区青少年健全育成会、元総社地区ボランティア連絡会、元総社保育所、元総社幼稚園、鈴蘭幼稚園、石倉保育所、しゃか保育園、しゃか第二こども園、中央大橋保育園			参加者	632人(うち来場者63人)
				教材用具	青 健:短冊用紙 公民館:笹竹、装飾雑品
				記録者	中村 徳 雄
<b>学習の概要</b>					
1 わらい 公民館へ来館された方や元総社地区内の保育所(園)・幼稚園に通う幼児と保護者による七夕短冊の作成を通じて、①幼児と保護者の絆を深める、②発表の場を提供し、幼児の豊かな心を育む、③地域と絆を深めることをわらいとして開催。					
2 概要 幼児と保護者が作成した七夕短冊は、6月28日(土)から休館日でも中庭から楽しんでもらえるよう、ホールロビー窓ガラスを利用して中庭に向けてボランティア連絡会の協力を得ながら展示(貼付)。来館者が作成した七夕短冊については、6月30日(月)から玄関ホールにて、笹竹に随時飾りつけて展示。					
3 周知方法 ①七夕短冊作成協力依頼先の各保護者あてに依頼兼お知らせを配布、②館報掲載、③ポスター館内掲示。					
<b>反省事項(感想及び意見)</b>					
子どもが少なくなっている中、元総社地区内の保育所(園)や幼稚園、また、そこへ通う幼児とその保護者の協力のおかげで、569枚の七夕短冊が集まり展示することができた。5年目となるこの展示であるが、今年も、作成した家族や部屋利用等で来場者された方が見ても、見応えのある展示ができたのではないかと思います。					
展示期間中は、初日から多くの方が来館し、お子さんの作成した短冊を探して、お子さんと楽しそうに写真撮っている様子などを見ていると、多少なりとも目的は達成できたのではないかと思いますとともに、公民館は何をする施設なのかと、少しでも考え、知ってもらえる機会になったのではないかと思います。					
来年以降は、展示だけではなく、開催期間中に七夕に関係した親子教室の開催などを検討したい。					



●文化祭

整理番号	1	期日	令和7年11月8日(土) ～令和7年11月9日(日)	会場	前橋市元総社公民館(玄関ホール、 ホール等各部屋、廊下、屋外)
講座・事業名	第40回元総社地区文化祭 【文化祭事業】			学習時間	延べ2日間
講師	—			来場者	延べ2,690人
助言者	文化祭実行委員等			材料費	模擬店・体験学習の材料費等
協力者	文化祭実行委員等			記録者	中村 徳雄
<b>学習の概要</b>					
1 <b>ねらい</b> 地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的に開催。					
2 <b>概要</b> 1日目を「こどもを中心とした文化祭」、2日目を「おとなを中心とした文化祭」と称して開催。1日目は、作品展示のほか、元総社中学校吹奏楽部の演奏、地区の伝統芸能の実演、地区内3小学校の合唱、体験学習や模擬店等のこども広場を行った。2日目は、作品展示と舞台発表を行った(詳細については、別紙資料のとおり)。					
3 <b>周知方法</b> ①公民館報への掲載、②ポスター館内掲示、③各自治会の掲示板へポスター掲示依頼、④文化祭のプログラムの全戸配布及び図書館分館内及び本館内掲示・設置、⑤地区4小中学校及び保育所・幼稚園の全児童・生徒などへこども広場チラシ配布、⑥地区4小中学校の全児童・生徒へこども広場をチラシタブレット配信。					
<b>反省事項(感想及び意見)</b>					
今年度は、作品展示のほか、文化祭を担当してから思い浮かべていた元総社中学校吹奏楽部の演奏と地区内3小学校の合唱と自主グループのミュージカル劇団等の参加協力が得られたため、1日目のこども達を対象とした体験教室や模擬店等も大変賑わいを見せていたと思う。					
また、2日目も作品展示と舞台発表と、団体同士のコラボ発表もありながら日頃の成果を発表し、会場を盛り上げたこともあり、延べ2,690名の来場があった。来場者を増やす試みが功を奏したと思う。					
地域活動を行う団体、学習するグループが一堂に会し、文化祭の手伝いや日頃の学習成果の発表を通じて互いに交流し、また伝統芸能の継承活動等の成果発表を行った結果、地域の芸術文化の振興と向上を図り、地域住民の連帯感を深める一つの行事になったと思う。来年度はより良い文化祭としたい。					





## ②令和7年度事業費等の状況（決算見込み）

### 1 講座学級等の事業費（講師謝礼等）

地域ふれあい事業	3,000円
プレイルーム元総社	21,900円
少年教室	61,600円
ベテラン学習講座	21,000円
子育て・親子支援講座	24,000円
自主学習グループリーダー研修（無料）	0円
文化祭開催事業（※実行委員会助成）	110,000円
生涯学習奨励員研修（無料）	0円
公民館運営推進委員会	16,000円

---

合計 257,500円

### 2 修繕及び工事の状況

#### (1) 修繕

ホール・料理実習室排煙窓修繕	48,400円
料理実習室水栓取替修繕	49,500円
案内標識設置等修繕	195,800円
駐車場車止めブロック取替修繕	85,800円
誘導灯設備交換修繕	23,100円
車椅子修繕	8,800円
シュレッダー修繕	22,550円

---

合計 433,950円

#### (2) 工事

全館空調設備更新工事 R7.10.2～R7.12.26  
破風及び鼻隠しシーリング打替工事 R8.2.17～R8.3.3

### ③公民館の利用状況

#### 1 利用件数及び利用人数 (令和3～7年度、7年度は2月実績まで)

年度	一般利用 (有料)		一般利用 (免除)		主催事業		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
3	322	3,787	1,199	16,114	28	1,925	1,549	21,826
4	433	5,207	1,596	27,373	43	1,626	2,072	34,206
5	553	7,586	1,812	36,841	75	5,773	2,440	50,200
6	683	8,018	1,856	30,011	111	4,594	2,650	42,623
7	643	5,859	1,489	25,936	74	3,405	2,206	35,200

#### 2 令和7年度：月別利用回数及び利用人員 (2月まで)

月	利用件数及び利用者数							
	有 料		免 除		主催事業		計	
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	56	469	125	1,754	2	12	183	2,235
5月	53	496	161	2,161	0	0	214	2,657
6月	58	547	174	1,972	0	0	232	2,519
7月	57	517	165	5,766	5	59	227	6,342
8月	52	460	101	1,589	11	213	164	2,262
9月	79	698	186	2,415	1	55	266	3,168
10月	71	727	160	1,927	3	30	234	2,684
11月	71	659	124	1,533	46	2,918	241	5,110
12月	72	678	121	1,591	5	86	198	2,355
1月	74	608	172	5,228	1	32	247	5,868
2月	76	674	186	6,010	1	26	263	6,710
3月	—	—	—	—	—	—	—	—
計	719	6,533	1,675	31,946	75	3,431	2,469	41,910

## 3 団体種別利用 (令和4～7年度)

(7年度は2月まで)

団 体	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人員	件数	利用人員
公共団体	535	11,853	598	20,209	641	13,415	603	17,932
青少年団体	29	669	23	280	15	172	9	165
女性団体	16	312	33	623	38	616	24	374
成人団体	1,412	19,414	1,681	22,945	1,815	23,510	1,732	19,604
高齢者団体	11	141	11	219	10	172	7	164
主催事業	43	1,626	75	5,773	111	4,594	75	3,431
企業その他	26	191	19	151	20	144	19	240
合 計	2,072	34,206	2,440	50,200	2,650	42,623	2,469	41,910

## 4 部屋別利用

部屋名	令和6年度			令和7年度2月まで		
	件数	利用人員	利用料金	件数	利用人員	利用料金
ホール	645	20,294	1,227,160	598	23,305	1,155,400
和室(1・2)	704	7,002	128,990	648	4,368	120,340
会議室(1・2・3)	815	9,526	332,080	713	8,021	288,200
視聴覚室	251	3,530	115,520	270	4,115	129,920
料理実習室	31	538	10,180	57	653	22,520
アトリエ	204	1,733	99,460	183	1,448	90,620
合 計	2,650	42,623	1,913,390	2,469	41,910	1,807,000
(有料団体計)	(683)	(8,018)	(378,430)	(719)	(6,533)	(419,120)

## 5 陶芸窯実費徴収金額

(7年度は2月まで)

	令和6年度	令和7年度
件 数	9	6
金 額	17,070	11,380

### ④各種団体活動事業

団体	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	10/ 5 (日)	市民運動会	地区住民	1,800	元総社小学校
	11/ 8 (土) 9 (日)	文化祭	地区住民	2,690	元総社公民館
	12/ 7 (日)	のびゆくこどものつどい・ ふれあいの広場 <small>※ふれあいまつり、子どもを明るく育てる活動含む</small>	地区住民	1,800	元総社公民館
体育推進委員会	5/25 (日)	グラウンドゴルフ大会	地区住民	雨天のため中止	元総社北小学校
	6/ 8 (日)	ポッチャ講習会	体育推進委員	45	元総社北小学校
	6/22 (日)	スマイルボウリング大会	地区住民	120	元総社小学校
	11/16 (日)	ソフトバレーボール大会	地区住民	70	元総社中学校
	12/14 (日)	西部地区ソフトバレーボール大会	元総社・総社・清里・東地区代表	30	東中学校
老人クラブ連合会	7/30 (水)	老連輪投げ大会	地区老連会員	86	元総社公民館
環境保健推進協議会・保健推進委員会	11/13 (木)	健康ウォーキング	地区住民	61	元総社地区内
	2/12 (木)	健康づくり講演会	地区住民	70	元総社公民館
地域づくり協議会	6/ 8 (日)	普通救命講習	安全安心部会 自治会役員 地区住民	90	元総社公民館
	7/27 (日)	三世代交流ディスコン大会	福祉・交流部会 地区住民	70	元総社中学校
	11/23 (日)	歴史・文化ウォーク	歴史伝統部会 地区住民	30	大福寺
	11/30 (日)	避難訓練	安全安心部会 自治会役員	90	元総社小学校
	12/22 (日)	元総社郷土かるた大会	歴史伝統部会 地区住民	100	元総社公民館

# 地域寺子屋の概要



## 「地域寺子屋の目的は？」

前橋市教育委員会では、家庭や学校と連携しながら地域でこどもを育てる取組の一環として、「地域寺子屋事業」を平成28年度より実施しています。この事業は、地域の公民館等で中学生の自主学習を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばせるようにするとともに、生徒の主体性や社会性を育むことをねらいとして行っています。

## 「実施場所は？」

中学校ごとに、公民館等の19会場で実施しています。

第一中地域活動室、三俣町投票所、総合教育プラザ、第五中地域活動室、総社公民館、第七中地域活動室、明桜中地域活動室、桂萱公民館、芳賀公民館、元総社公民館、旧東公民館、南橋公民館、鎌倉中地域活動室、永明公民館、城南公民館、大胡支所、宮城公民館（1学期中は鼻毛石町集落センター）、粕川公民館、富士見公民館



## 「実施時間は？」

学校がある日の放課後に、週2日、3時間程度実施しています。実施時間内であれば、生徒自身の都合のよい時間に会場に行って自主学習を行うことができます。

※時間は会場により異なります。また、季節や学校行事、天候等により、実施時間が変更となる場合があります。

## 「運営スタッフは？」

生徒の自主学習を支援するために、元教員の指導者と、地域住民や大学生のサポーターにご協力いただいています。



## 「活動の流れは？」

### ①受付

- ・学校帰りに直接寺子屋会場に行きます。
- ・受付で開始時刻、終了予定時刻を記入します。

### ②自主学習

- ・各自が予定した学習を自主的に進めます。
- ・分からないところは、指導者や大学生に質問します。

### ③終了

- ・各自で学習の取組を自己評価して、指導者に終了を報告します。
- ・帰宅予定時刻を記入し、確認印を押してもらって帰宅します。



## 「寺子屋に参加するには？」

- ①担任の先生や中学校の担当の先生に申し出てください。
- ②活動記録用紙を渡しますので、実施日に直接会場に来てください。

令和7年度 地域寺子屋（元総社公民館）

参加生徒数

【1学期】

5月		計						
実施日	5/7	5/12	5/15	5/19	5/22	5/26	5/29	7回
参加人数	41	40	44	33	36	24	32	250人

7月		計		
実施日	7/3	7/7	7/10	3回
参加人数	25	24	23	72人

【2学期】

9月		計						
実施日	9/4	9/8	9/11	9/18	9/22	9/25	9/29	7回
参加人数	20	22	22	23	23	19	18	147人

11月		計						
実施日	11/6	11/10	11/13	11/17	11/20	11/27		
参加人数	29	27	25	25	19	20		

【3学期】

1月		計					
実施日	1/8	1/15	1/17	1/22	1/26	1/29	6回
参加人数	18	14	17	16	11	18	94人

6月		計								
実施日	6/2	6/5	6/9	6/12	6/16	6/19	6/22	6/26	6/30	9回
参加人数	29	20	35	32	43	40	22	29	27	277人

10月		計							
実施日	10/2	10/6	10/9	10/16	10/20	10/23	10/27	10/30	8回
参加人数	21	20	18	19	18	17	27	26	166人

12月		計							
実施日	12/1	12/4	12/8	12/11					4回
参加人数	23	25	21	31					100人

2月		計						
実施日	2/2	2/5	2/9	2/12	2/16	2/19	2/26	7回
参加人数	18	15	18	17	21	11	18	118人

1学期	延べ人数	599人	開催回数	19回	1回あたり参加者数	31.5人
-----	------	------	------	-----	-----------	-------

2学期	延べ人数	558人	開催回数	25回	1回あたり参加者数	22.3人
-----	------	------	------	-----	-----------	-------

3学期 (1月現在)	延べ人数	212人	開催回数	13回	1回あたり参加者数	16.3人
------------	------	------	------	-----	-----------	-------

令和7年度 (5月～2月)  
 実施回数 57回  
 参加のべ人数 1,369人  
 1回あたり平均 24.0人